

戸畑区

24.鞘ヶ谷戦災死三十一柱之碑（日鉄西鞘ヶ谷社宅）
1945年8月8日の八幡空襲で日鉄社宅320棟が焼失し、死者31人負傷者25人の犠牲がでている。

25.牧山高射砲陣地（牧山展望公園）
公園内に砲座基部が2基現存。

若松区

26.軍艦防波堤（響灘沈艦護岸）
1948年建設。「柳」のみ船体の一部が露出している。

27.朝鮮人遭難慰霊塔（小山田墓地）
1945年9月、独自に船を用意し帰国しようとした朝鮮人が台風で遭難（機雷による遭難との説もあり）し若松北海岸一帯に遺体が漂着した。遺体は付近の住民の手で小山田墓地に埋葬された。埋葬場所は1981年特定され、1990年、市民運動により北九州市が慰霊碑を建立した。

28.高塔山公園周辺

- 高塔山高射砲陣地**（北九州仏舎利塔・高塔山広場）
- 高塔山照空陣地**（高塔山展望台）
公園整備により遺構なし。
- 駆逐艦「冬月」「涼月」「柳」戦没者慰霊碑**
1976年建立。軍艦防波堤となった3隻の軍艦の戦没者を慰霊するもの。「柳」に関する碑文が1945年竣工の2代目のものとなっているが現在は誤りであることが判明している。
- 若松市忠霊塔**
1957年建立。若松市の戦没者を慰霊するもの。隣接する建物に若松市の戦没者名簿が収められている。
- 五重塔**
八幡空襲で焼失した中野金次郎（若松出身の財界人）私邸から、戦没者追悼のため移築したもの。

29.石峯山高射砲陣地（石峯山・烽火台山）
石峯山衛星地球局付近の敷中に遺構あり。烽火台山には砲座基部と弾薬置場が現存。

30.総牟田高射砲陣地（灘山牧場）
土地所有者により整備されており見学可能。

八幡東区

31.小伊藤山公園

1945年8月8日の八幡空襲で小伊藤山の防空壕に避難していた約300人が窒息死した。1951年区画整理で山は削平され公園となり、52年八幡市が戦没者追悼のため慰霊塔を建立した。

32.戦災殉難者之碑（谷口霊園）
八幡空襲犠牲者の遺体は市営火葬場で荼毘にされることになったが、身元不明の遺体などは隣接する畑に埋葬された。1950年市民団体の陳情により八幡市が慰霊碑を建立した。

33.大蔵高射砲陣地（勝田公園）
芝生内に遺構と思われるコンクリートがある。また公園内の遊歩道は砲座を連絡する通路を再利用していると思われる。

34.皿倉山高射砲陣地（皿倉山・権現山）
皿倉山山頂に高射砲・照空灯・聴音機、権現山山頂に高射砲、キャンプ場付近に兵舎などが存在した。

八幡西区

35.体当たり勇士の碑（折尾南2号公園）
1944年8月20日北九州に來襲したB29編隊の1機に対して2人乗りの戦闘機1機が体当たり攻撃をおこない、爆撃機2機を墜落させた。この搭乗員を顕彰するため地元住民により建立された。

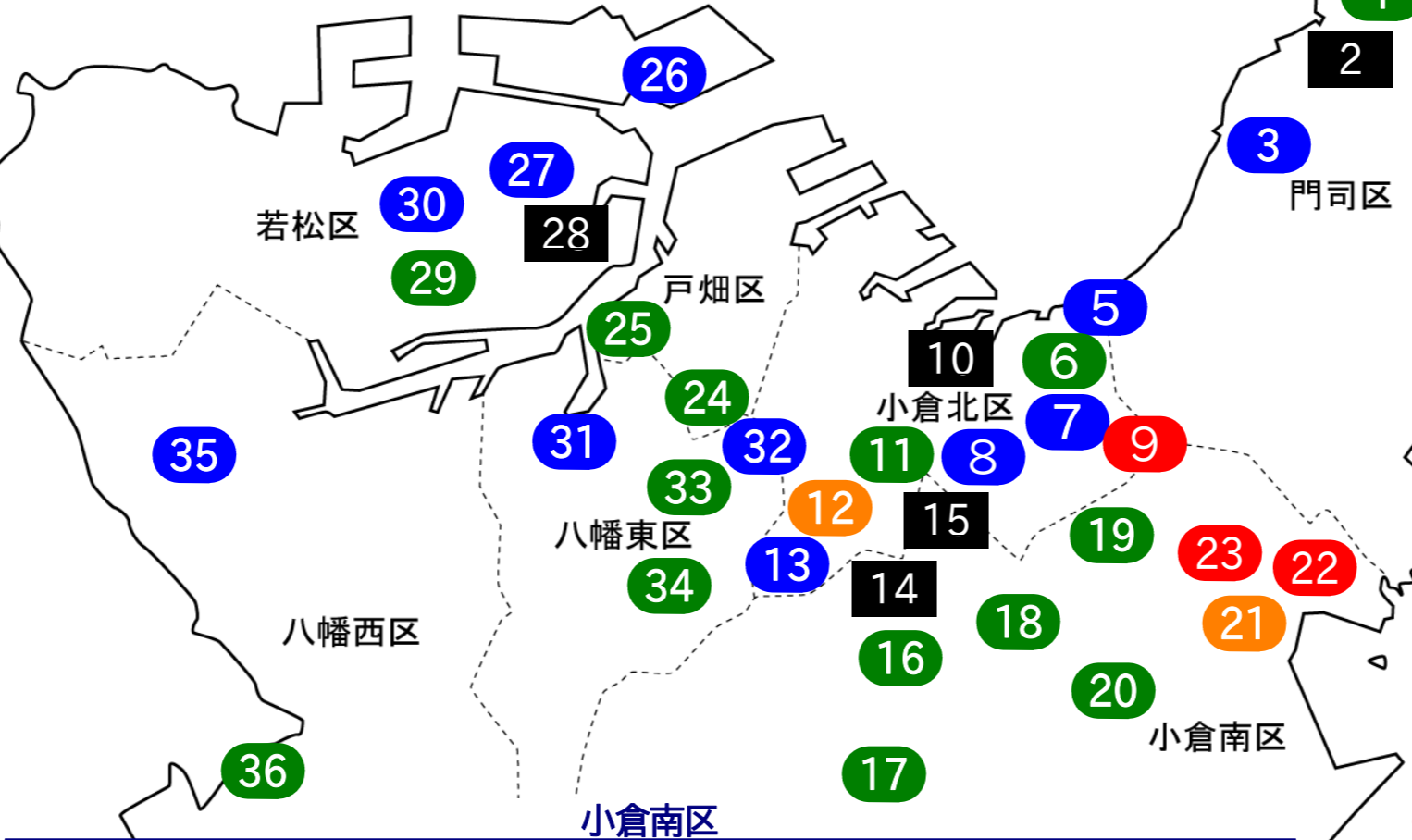
36.楠橋小学校の奉安殿（廣幡八幡宮）
関東大震災以降全国の学校に設置されるようになった奉安殿は1946年に学校から撤去する指示がだされたが、学校の敷地になれば良いと解釈し移設され保存されたものもあった。これはその一例。保存の経緯は不明。

北九州の戦争遺跡マップ

- 遺構が整備され説明がある。
- 遺構または説明がある。
- 遺構・説明はないが訪問は可能。
- 私有地・自衛隊施設・未整備のため見学が困難。
- 複数の遺跡があるエリア（数字の色は凡例と同じ）

参考資料

北九州平和資料館をつくる会 編「北九州の戦争遺跡」（2016年）、福岡県教育委員会「福岡県の戦争遺跡（福岡県文化財調査報告書第274集）」（2020年）、北部九州郷土部隊史料保存会 編「兵旅の賦 明治大正編」「同 昭和編」（ともに1978年）、門司税関「門司港と門司税関の軌跡～門司税関100年の歴史～」(2009年)「山田緑地―「30世紀の森」づくり―」(「北九州市」ウェブサイト)「幻の特攻～蕪島水上特攻基地～」(「北九州市平和のまちミュージアム」ウェブサイト)、その他「国立公文書館アジア歴史資料センター」「国立国会図書館」「福岡県立図書館」がオンラインで公開している資料。地図・空中写真閲覧は、国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」、埼玉大学教育学部 谷謙二「今昔マップ on the web」。



14.北方・若園周辺

- 歩兵第47連隊将校集会所**（小倉駐屯地資料館）
1898年頃建設。見学は駐屯地広報室に事前申し込みが必要。
- 小倉陸軍病院**（小倉医療センター）
1875年小倉城内で開院。1899年現在地に移転。戦後は厚生省に移管され国立病院となる。敷地内に記念碑がある。
- 工兵第12大隊の隠道**
鉱滓煉瓦で作られたトンネル状の構築物。用途は不明。
- 鷲峯山高射砲陣地**（鷲峰公園）
1941年に設置。山中に遺構が現存する

15.城野周辺（小倉北区を含む）

- 女子挺身隊寄宿舎門柱**（ひびき寮）
城南中、城野小、小倉商業高校の一帯に造兵廠で働く女子挺身隊の宿舎があった。敷地は戦後米軍が接収し、朝鮮戦争時に慰安施設として利用された。
- 小倉陸軍刑務所**
1922年に室町から新築移転。戦後は医療刑務所となり1997年まで使用。再開発の際に「城野遺跡」が発見される。現在は一部が公園となったが大部分が商業施設。
- 小倉陸軍兵器補給廠**（北九州総合病院ほか）
1898年に設置。戦後は米軍の接収をへて陸上自衛隊と警察が使用。自衛隊使用部分は病院・住宅地となっている。

16.小倉射撃場（志徳団地）

北方に歩兵第47連隊等が設置されたことを契機に1899年設置。戦後は米軍接収を経て陸上自衛隊が使用した。

17.平尾台演習場

1912年から用地買収。大正から昭和の初めに兵舎などを整備。47年から復員者・引揚者による開墾地として売却。境界柱が現存。

18.竹下高射砲陣地（総合農事センター）
敷地内の丘に存在した。

19.足立山高射砲陣地（砲台山）
山頂から尾根沿いに遺構が現存する。

20.曾根弾薬庫（文化記念公園・田原中学校・小倉東高校ほか）
1940年航空資材倉庫として設置。戦後は民間企業が使用。下曾根駅起点の引込線跡地の一部が道路となっている。

21.陸軍曾根飛行場（九州労災病院・産業団地ほか）
1944年開設。戦後米軍接収をへて民間空港として使用される。2006年新空港開港により廃止。

22.東京陸軍第二造兵廠曾根製造所（小倉駐屯地曾根訓練場）
広島県大野く島で製造した毒ガスを砲弾に充填していた。戦後に毒ガス弾を対田港周辺の海に投棄したため工事の度に発見される。

23.高蔵堡壘・高蔵山照空陣地

1900年設置され明治末に廃止されるが、1942年に照空陣地として再利用された。整備されていない。

門司区

1.古城山砲台（和布刈公園）
1890年竣工。山頂付近に観測所などの遺構が現存する。

2.門司港周辺

- 第114連隊第7中隊慰霊碑**（田宮八幡宮）
甲宗八幡宮ウェブサイトの説明あり。
- 軍馬塚**（正蓮寺）
正蓮寺ウェブサイトの説明あり。
- 渡航者監視所・帰り水**（門司港駅）
- 門司税関1号上屋**（旧大連港航路上屋）
1階に第二次世界大戦時に関門海峡周辺に敷設された機雷に関する説明あり。また付近の岸壁は戦後米軍が1972年まで接収し山田弾薬庫等に搬入する弾薬等の荷役等に使用していた。
- 出征軍馬の水飲み場**（門司港西岸壁）
- 慰霊碑**（老松公園）
1932年在郷軍人会門司市連合分会が「忠魂碑」として建立。老松公園は戦死・戦病死者の遺骨・遺品の引渡し場所だった。また老松公園は「陸軍門司兵器支廠」の跡地。
- 軍道通り**
丸山2丁目交差点から市立門司庭球場までの道路。庭球場は弾薬庫の跡地。下関要塞地帯の境界柱もある。
- 丸山倉庫**（門司中学校・市営丸山団地ほか）
1895年設置、門司丸山郵便局から旧門司高校までの土地、1万坪に陸軍の倉庫群が明治末まであった。

3.矢筈山砲台（矢筈山キャンプ場）
1898年竣工。トンネル・地下倉庫が再利用されている。

4.蕪島水上特攻基地
「北九州市平和のまちミュージアム」のウェブサイトに記述あり。採石場敷地内のため見学は困難。

小倉北区

5.手向山砲台（手向山公園）
1888年竣工。探照灯台座と火力発電所の遺構に説明あり。その他倉庫・観測所の遺構が現存。

6.富野堡壘（足立公園）
老人ホーム「望玄荘」向かいの駐車場等に弾薬庫が現存。

7.国際連合軍記念十字架（足立公園）
朝鮮戦争の国連軍戦死者慰霊のため1951年米軍が建設。

8.忠霊塔（平和公園）
1942年千堂陸軍墓地（現 南小倉小学校）が手狭になったため当地を陸軍墓地として整備した際に建立された。

9.富野弾薬庫（陸上自衛隊富野分屯地）
1935年竣工。戦後は米軍が接収、1955年日本に返還後は陸上自衛隊が使用。

10.小倉城・大手町周辺

- 軍馬慰霊塔**（八坂神社）
日露戦争に従軍した坪根金一が、日露戦争以降の軍馬慰霊のため1942年に建立。
- 司令部門柱**（小倉城）
第12師団司令部と第12旅団司令部のもの。
- 小倉陸軍造兵廠**（大手町）、**慰霊碑**（永照寺）、**造兵廠引込線**（原町緑道）
大手町公園に記念碑あり 慰霊碑は44年6月16日の空襲で犠牲になった工具、挺身隊員などを慰霊するもの。造兵廠は長崎に投下された原子爆弾の当初の目標だった。
- 小倉陸軍造兵廠の防空監視哨、給水塔のレプリカ**（大手町公園）
どちらも解体の際に、市民運動で保存・設置されたもの。監視哨は元第一旋盤工場屋上もの、給水塔レプリカは部材の一部保存とあわせて設置されたもの。
- 旧かねやす百貨店の防空監視哨**（ワシントンビル屋上）
小倉船場郵便局付近などから視認できる。

11.小倉陸軍造兵廠技能者養成所（貴船小学校・はるおかスイミングほか）
1940年開設。少年を工具に養成する学校、寄宿舎も併設。道路脇に標柱あり。

12.陸軍造兵廠南小倉火薬庫線（市道熊谷原町1号線の一部）
小倉造兵廠で製造した砲弾輸送のため1941年敷設。戦後米軍が使用。1968年線路上に座り込み弾薬列車運行阻止をする学生・市民を機動隊が強制排除し逮捕者がでている。

13.山田弾薬庫（山田緑地・陸上自衛隊山田訓練場）
北九州市ホームページに説明あり。